

東日本大震災災害支援報告書

巡回日 平成25年 11月9日(土)～ 10日(日)	巡回先名 岩手県上閉伊郡大槌町 小槌第17仮設住宅 小槌第2仮設住宅 大槌第2仮設住宅 大槌第3仮設住宅 子ども夢ハウスおおつち
-------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------

担当者名	白根雅之(歯科医師)	歯科医師	歯科衛生士	歯科サポート兼ハンドトリートメント施術ボランティア
		職種		(歯科S&H)
		所属	岩手三陸復興の狼煙作戦	

巡回メンバー(メンバーの氏名と職種・所属)

白根雅之: 歯科医師 埼玉県歯科医師会 岩手三陸復興の狼煙作戦

清水夏子: 歯科衛生士 所沢あおぞら歯科診療所 岩手三陸復興の狼煙作戦

*清家瑞穂: 会社員 サンスター株式会社勤務 岩手三陸復興の狼煙作戦

山崎耀樹: 元教員 現地駐在(釜石)支援員兼記録者 岩手三陸復興の狼煙作戦

*印は、歯科サポート兼ハンドトリートメント施術ボランティア

(以下: 歯科S&Hと称す)

歯科医師1名、歯科衛生士1名 歯科S&H1名 支援員兼記録者1名 計4名

協力者

岩手県県上閉伊郡大槌町地域支援員配置事業

岩手県県上閉伊郡大槌町小松歯科医院 歯科医師 小松元

支援内容

“一生自分のお口で食べよう”というテーマのもと、健口体操はじめお口の機能訓練を通じて、震災後の多くの条件により引き起こされると言われている“誤嚥性肺炎”の防止に取り組んだ。そして、お口に関する心配事を伺い、入れ歯の調整など簡単な応急処置を行うとともに、治療および定期的な健診の必要性

に応じて書面による地元歯科医院への情報提供および受診勧奨を行った。

支援ご参加の人数

<小槌第 17・2 仮設住宅談話室>

・口腔機能の向上に関する講話	3 人
・健口体操	3 人
・歯科健診	3 人
・口腔衛生指導	3 人
・ハンドトリートメントによる脱感作施術	3 人

<大槌第 2・3 仮設住宅談話室>

・口腔機能の向上に関する講話	4 人
・健口体操	4 人
・歯科健診	4 人
・口腔衛生指導	4 人
・義歯調整をはじめとする簡単な歯科治療	3 人
・ハンドトリートメントによる脱感作施術	4 人

協賛

サンスター株式会社：保湿剤（バトラージェルスプレー、うるおい透明ジェル）、
歯間ブラシ、歯ブラシ。

グラクソ・スミスクライン株式会社：ポリデント、ポリグリップ

モリタ株式会社：チェックアップジェル

T&K株式会社：保湿剤他サンプル製品や指導書

考察

今回も歯科診療に重点を置くのではなく、閉じこもりなどによる体力の低下や廃用性萎縮による口腔機能の低下に伴う“誤嚥性肺炎の予防”をテーマに支援に携わらせて頂いた。

小槌の仮設住宅は 2 回目の訪問となる。口腔ケアに関する講話→健口体操→ストローと綿棒を用いた口唇閉鎖及びブローイング訓練など、工夫を凝らし楽しく進めることができるよう計らった。ハンドトリートメントを後半に回し、講話や体操による疲れの癒しをねらいとした。同時に効能として脱感作も十分にその効果を発揮し、日常におけるお口への気付きや、次回以降の支援につながったのではないかと思われる。

大槌の仮設は初めての訪問となった。なかなか人の集まりにくい場所とお聞きしていたが、当日は天候の状況もあってか少数の来場にとどまった。実際開始してみるといきなり、“噛めない”を主訴にされる方が目立ち、近隣の歯科医院への受診勧奨とともにそこへ繋ぐための応急処置に至った。義歯の方が多く、装着まではどうにか通ったものの、その後の調整を怠ったためにうまく噛み合わせができない状態で我慢していた方が多かった。歯科治療の必要性を住民の方々は自覚しているようであるが、歯科医院を受診する交通手段も乏しかった。また、相変わらず待ち時間や予約の間隔が長かったりして治療が一向に進まなか

ったりで、そのうち放置してしまっている方々が沢山いらした。また独居であったり、身体的理由により歯科医院への通院が困難な方への支援の必要性は変わっていないと思われる。終了後は多くの方々に再訪のオファーを頂いた。

子ども夢ハウス大槌は学童保育の場である。7月には子供たちを対象に歯科健診、染め出しによる歯磨き指導などを行ったが、今回は遊びの中での歯磨きについての声掛けや、指導員に対する口腔衛生指導を行った。また、歯磨き剤や遊具についても指導員に支援物資をしてお渡しした。

(白根雅之 記)

交通手段がないことで、運動不足になっていることも気にされている方が多い。ハンドトリートメントの後に、肩こりが辛いと仰る方には、肩から背中にかけて施術を行った。また、セルフケアとして簡単な指のマッサージや体操を伝えて、運動不足や肩こりの軽減を意識していただけるようにした。

お話される内容が少しずつ変化している。今年に入ってから震災が起きたその時のことを話してくださる方が増えた。海を見るのが怖いという方が少くない。身近な家族が亡くなった時のことなど。本当に恐かったこと、悲しかったことをやっと口にできる段階が来たのだとしたら、地域外の人間（身近な方同士の場合は、被害の違いによって話しづらいこともある）が入って、お話に傾聴できる機会が増えると良いと感じた。

(清家瑞穂 記)

活動を振り返って、改善の必要性を感じました。

- 1、活動時間が限られるため支援内容が限定されてしまうこと。
- 2、お集まりいただける人数の把握が前もって出来ないため詳しい活動内容を伝達できないこと。
- 3、支援活動日と地域の祭事(催事)が重なると参加が困難となるため調整検討が必要であること。
- 4、支援先の方々のニーズを事前に把握し(アンケートなど)要望に近い支援をおこなうこと。

(清水夏子 記)

健診しながら、それぞれの心のつぶやきを、丹念に受け止めておられました。受診を終えた表情に、見てとれました。ハンドリフレと同時開催も、大いに効果があったと思われました。

(山崎耀樹 記)

11月の支援を終えた時点での支援対象者数

- ・誤嚥性肺炎に対する啓発および予防：144名
- ・歯科健診受診者：184名
- ・指導者に対する研修会受講者：50名

支援に関わっていただいた延べ人数：378名



うがいと手洗いの仕方（小槌）



咳ばらいの仕方（小槌）



唾液腺マッサージ（小槌）



ハンドトリートメント（小槌）

巡回許可：支援事前および事後連絡

岩手県歯科医師会 佐藤 保先生

岩手県釜石歯科医師会 小松元先生

岩手三陸復興の狼煙作戦 代表 佐々木龍夫
〒131-0031 東京都墨田区墨田 4-2-4-201

支援責任者 中里義博
〒343-0807 埼玉県越谷市赤山町 4-13-23
Tel 048-964-4268